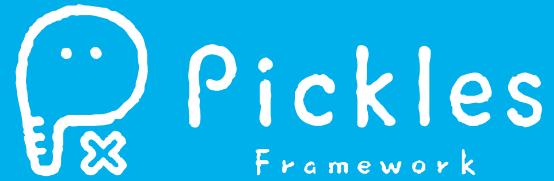


Pickles Framework

Introduction of “Pickles Framework”

2014.3.2a5 Tomoya Koyanagi



Pickles Framework とは何ですか？

Pickles Framework は、
静的で大きなウェブサイトを効率よく構築できる
オープンソースのフレームワークです。

データベース不要、PHP5が動くサーバーに手軽に導入でき、
プロトタイプ制作を中心に進めるような
柔軟な制作スタイルを実現します。

<http://pickles.pxt.jp/>

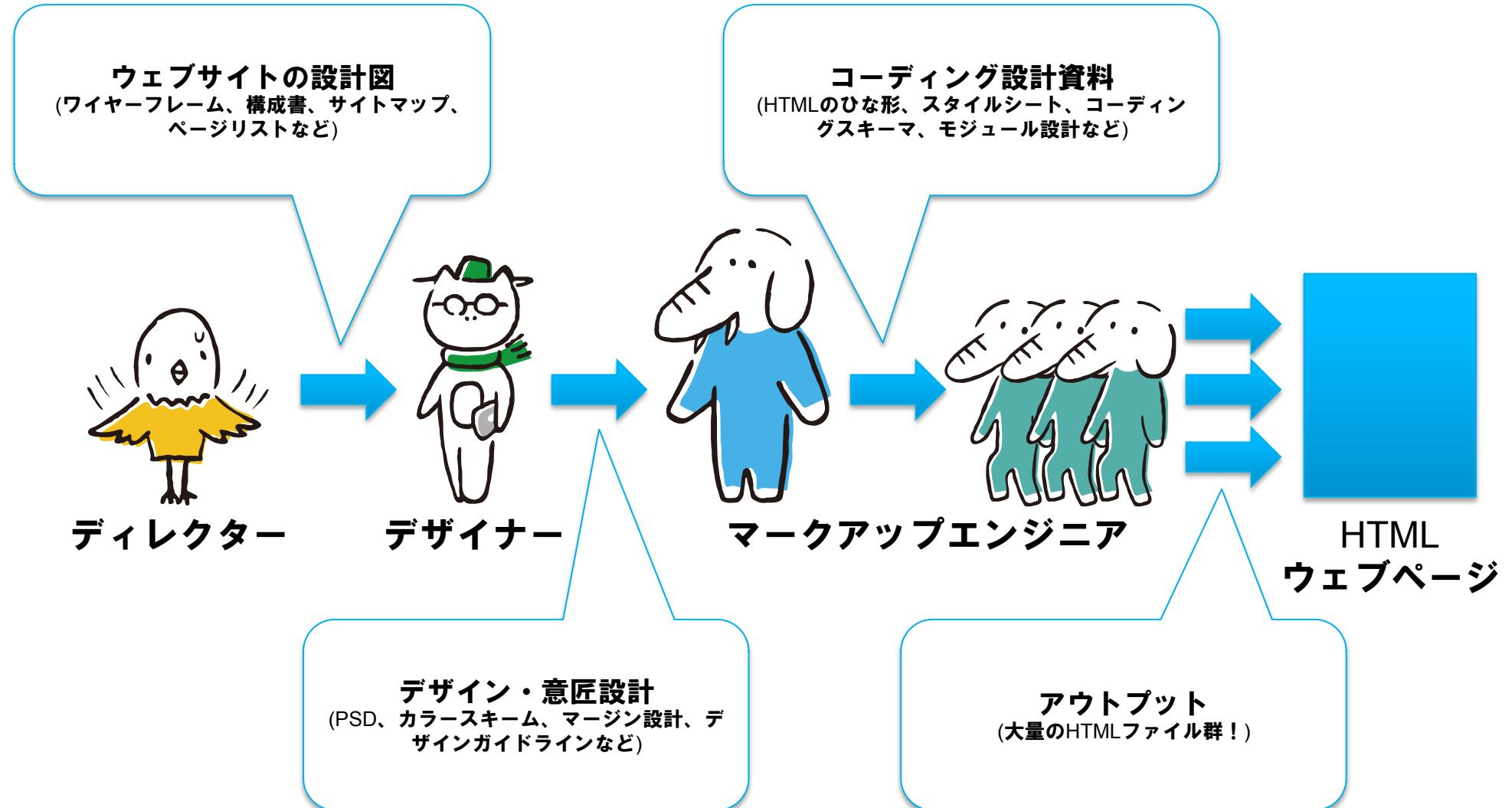


“静的で大きなウェブサイト”が得意な フレームワークです。

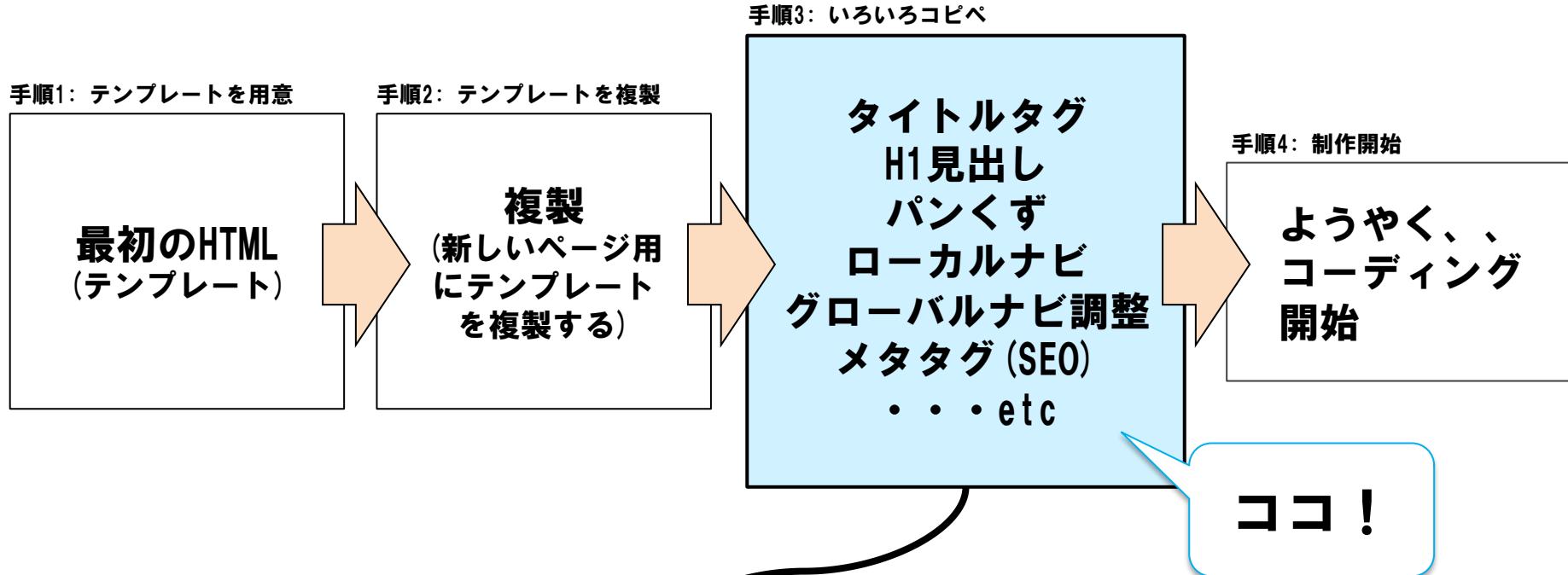
- 数100ページ、数1000ページ規模の大きなウェブサイト。
- 10～20人の体制で作るような、大所帯のプロジェクト。
- スタティックなHTMLで表現する、たとえば企業サイトやカタログサイト。
- デザインや構成要素がなかなか決められない、新規サイト構築のお仕事。

ウェブ制作の現場では、分業で仕事をすることが多くなりました。

分業だから、コミュニケーションのための中間成果物がたくさん作られます。

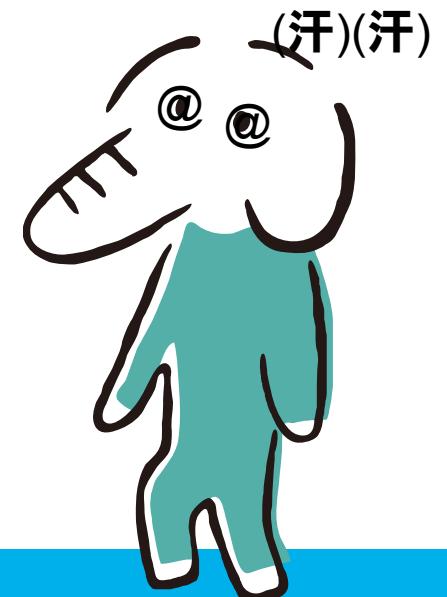


従来のコーディングの手順は、“機械的な作業”がなかなか多くて大変です。



機械的な作業、意外と負担が大きい！

- ・ いっぱいいいじるところがあって、とにかく大変！
- ・ 実は同じ情報を何回もコピペしている。
タイトル、H1、パンくず、メニュー・・・全部同じラベル！
- ・ ミスが起こりやすい。
ずっと似たようなソースコードを見ていると、
ゲシュタルト崩壊を起こして、なんかヘンなものに見えてくる。

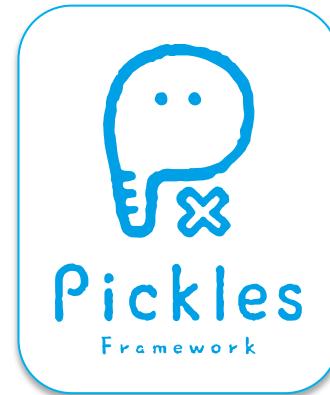


そうやって作られたHTMLは、チェックするのも大変です。

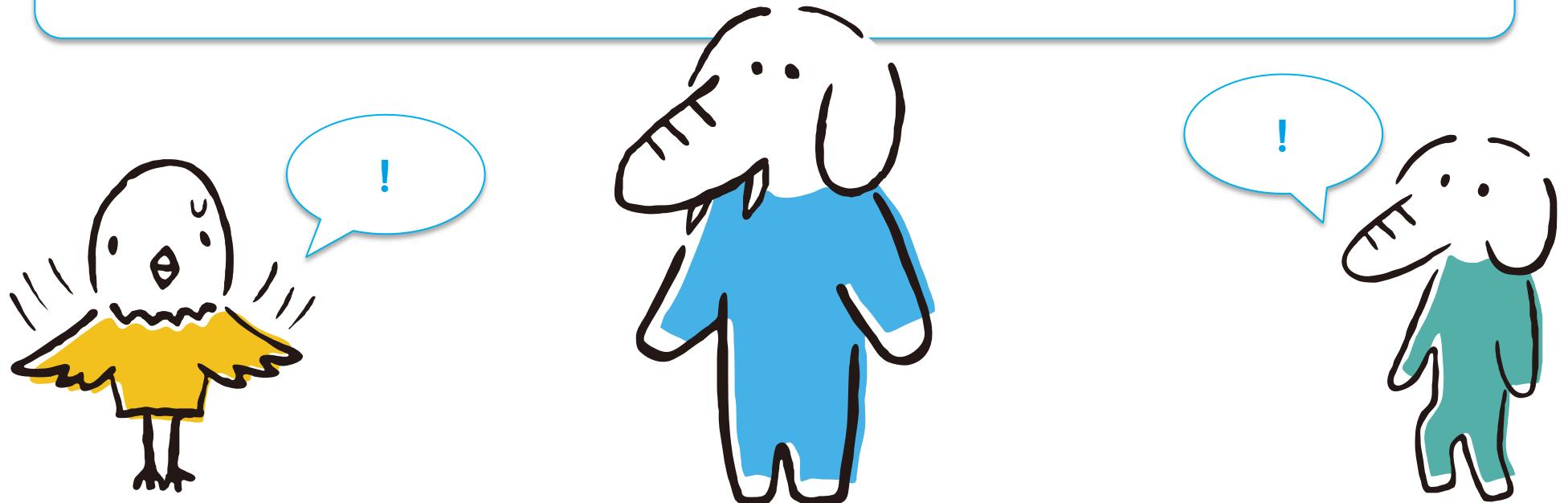
機械的な作業、チェックするのもたーいへん！



- 全部のページの全部のリンクを押してみないといけません。
ローカルナビに10ページ分のリンクがあったら、
 $10 \times 10 = 100$ 個のリンクを確認しなければいけません。
- パンくずも全部押してみないといけません。
階層が深いページほど苦痛！
- メタタグとかはソースを開かないと見えません。
ソースコードも確認します。(ほとんど同じなのに... !)
- ミスってても見つけられなくなります。
ずっと似たような文字を読んでいると、
ゲシュタルト崩壊を起こして全部まちがってるよう見えています。



機械的な作業は、機械がやった方が、早くて正確なのダ！



それって、CMS入れたら解決じゃないの？

ホソ..



CMSといえば、例えばこういうの。

Autonomy
TeamSite



NOREN
FOR WEB BRANDING

WORDPRESS

WebRelease 2

SDL tridion

MOVABLE TYPE™

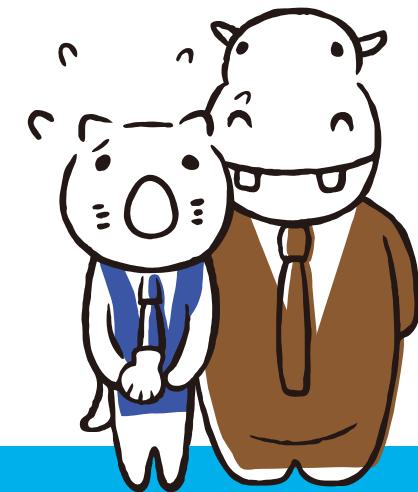
CMS
Soy

 **CQ5**

 **PUKIWIKI**

 **sitecore®**

 **WiX**.com



CMSの多くは「帯に短し襷に長し」、なかなか手軽に使えません。

こんなにたくさんある便利なCMSたち。
静的なウェブ制作の仕事にも使えばいいじゃないか！

と、思いきや・・・。

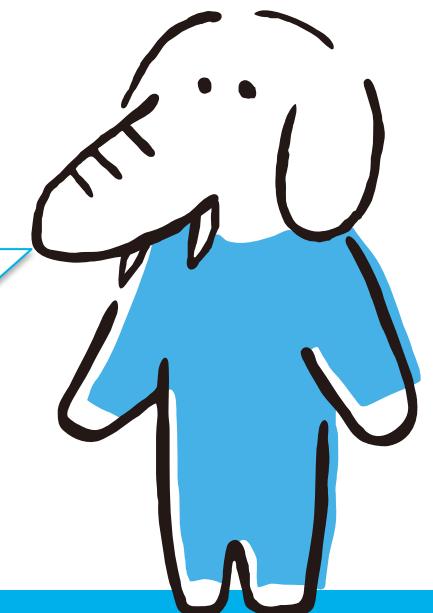
しかし、「帯に短し襷に長し」
静的なウェブサイトの制作には、
なかなかマッチしません。

CMSはなぜ歓迎されないか：セットアップが大変です。

セットアップが大変。
コマンドラインを使えないとインストールできない！
データベース・サーバーがないと動かない！



Pickles Framework は、
PHP5が動作する環境ならたいていすぐに動きます。
MySQLなどのデータベースも使いません。

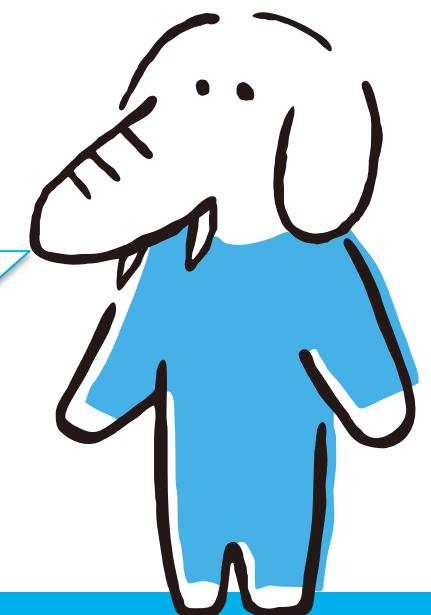


CMSはなぜ歓迎されないか：ページ編集の手段が制限される。

ページ編集の手段が制限される。 WYSIWYGなどウェブアプリ上の 管理画面でしか編集できない、とか！



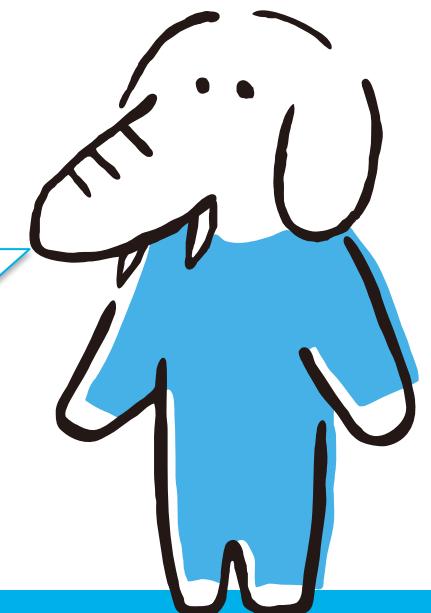
Pickles Framework のコンテンツデータは、基本的にただの HTMLです。エンジニアたちが普段使い慣れている好きなテキストエディタで編集することができます。



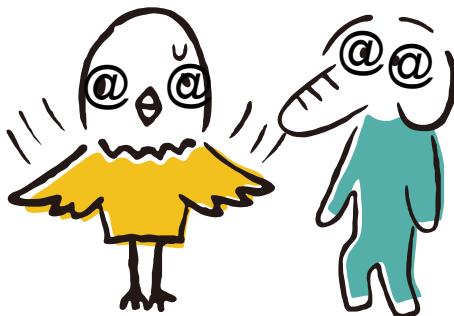
コンテンツデータがデータベースに入ってしまう。
複数ページにまたがる変更をするときなどに、
置換ツールが使えない！



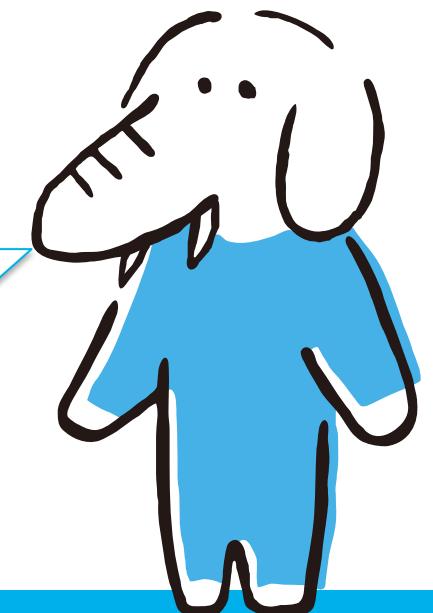
Pickles Framework は、コンテンツや一覧の情報もテキスト
ファイル形式で定義します。
広範囲なページに大量の修正指示があっても、テキストエ
ディタに付属のグレップ機能などで対応できます。
特別な機能やSQLなどを習得する必要はありません。



データベースに入ってしまったコンテンツの バージョン管理ができない！



Pickles Framework は、コンテンツや一覧の情報もテキスト
ファイル形式で定義します。
なので、SVNやGitにコミットして、プログラムソースコード
と同じようにバージョン管理することができます。

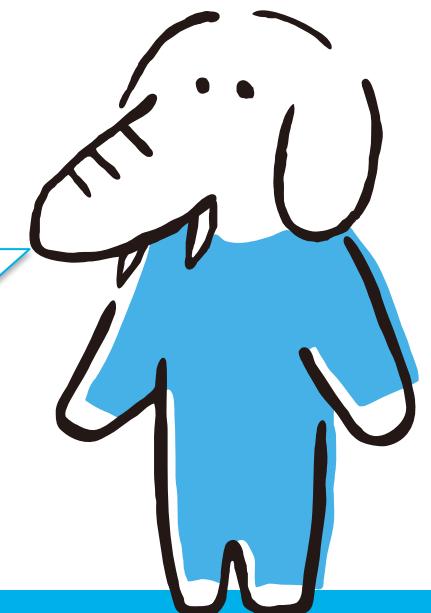


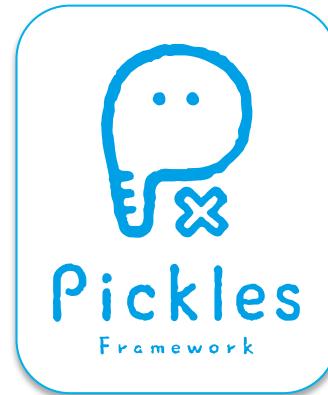
CMSはなぜ歓迎されないか：高機能すぎる！高価すぎる！

高機能すぎて使いこなせない！ そして、お高い！

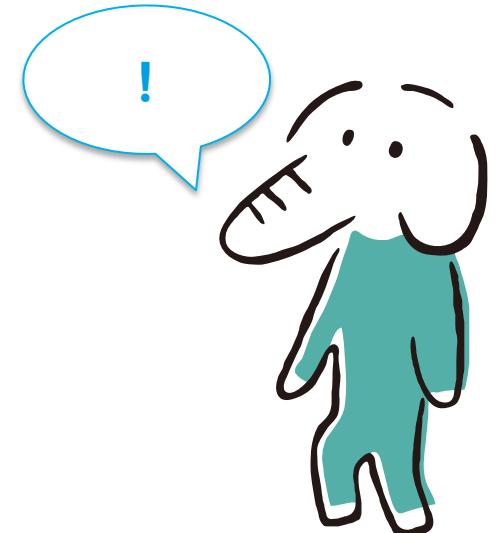


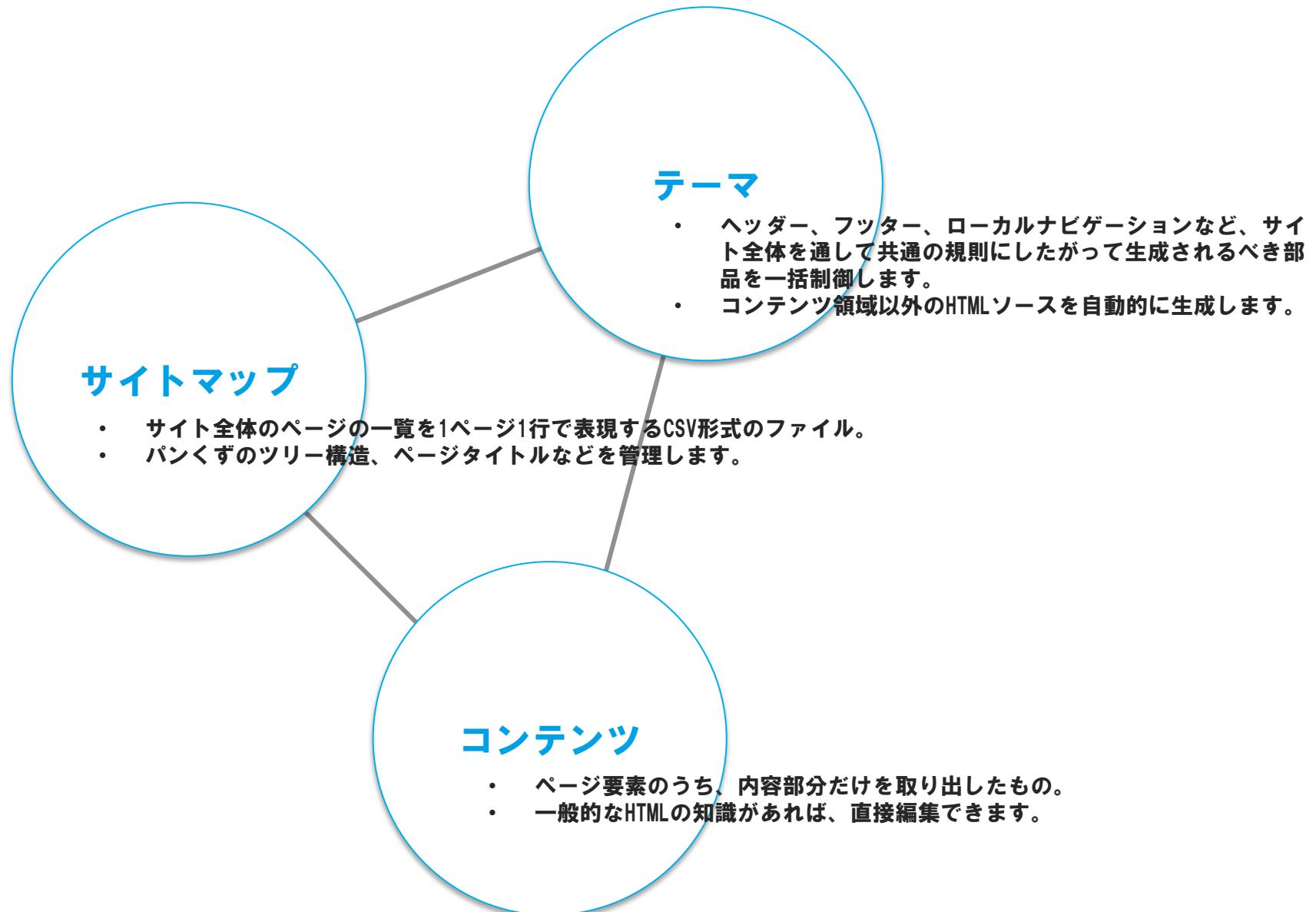
Pickles Framework は、フリーで使えるシンプルなツールです。
コスト的にも機能的にも、大変気軽に導入できます。





Pickles Framework は、ちょうどよいのダ！





Pickles Framework にできること。

1. ページ名やパンくずの階層などの情報を、[CSVファイルで一括管理](#)できます。
2. ヘッダーやフッター、ナビゲーション、パンくず、メタタグなど、
スタンダードなウェブデザイン上のルール化できる要素や、
コピー＆ペーストする作業のほとんどを、[自動的にコーディングします](#)。
3. デザインの[テーマを複数定義](#)して、簡単に切り替えたり、再利用できます。
4. たくさんの[スタティックなHTMLファイルを生成](#)します。

ようするに、
たくさんのHTMLを制作するときに必要な、
めんどくさい作業を代わりにやってくれます。

実際に、触ってみましょう。

Pickles Framework は、ローカルに立てたサーバーで簡単に動かせます。

Windows なら “XAMPP” 、MacOSXなら “MAMP” がオススメです。



XAMPP (on Windows)



MAMP (on Mac OSX)

まずは、ソースコードをダウンロードします

Pickles Framework の公式サイトでお待ちしています。

The screenshot shows a web browser displaying the 'Download' page of the Pickles Framework website. The URL in the address bar is <http://officialweb.pxfw.localhost/download/>. The page features a blue header with the Pickles Framework logo and navigation links for 'Pickles Frameworkとは?' (What is Pickles Framework?), 'ダウンロード' (Download), 'セットアップ手順' (Setup Guide), 'チュートリアル' (Tutorial), and 'マニュアル' (Manual). Below the header, there's a breadcrumb trail: 'トップページ > ダウンロード'. The main content area has a light beige background and contains the following text:

Pickles Framework はオープンソースプロジェクトとして開発されており、[GitHub上でソースコードが公開](#)されています。

GitHub上のタグページから、各バージョンのZIPアーカイブを入手することができます。ソースコードをダウンロードしてください。

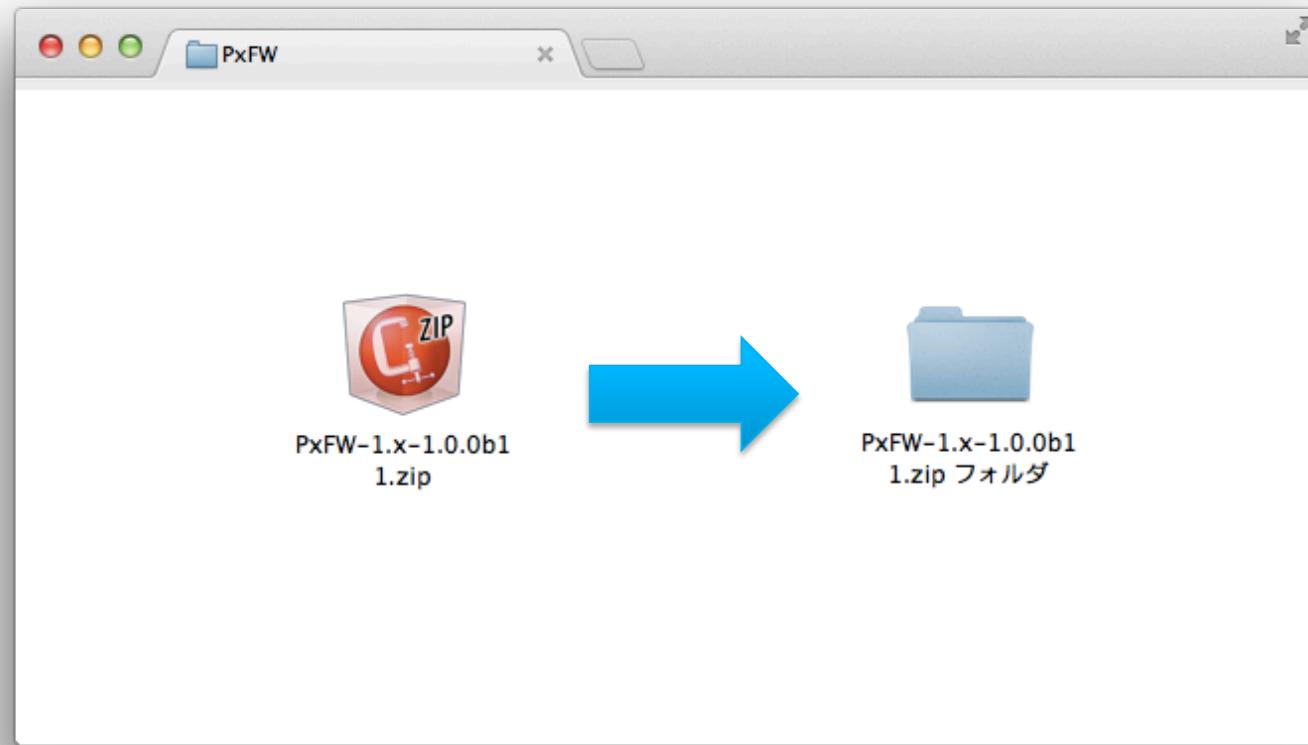
※バージョン番号の見方については、[バージョン番号の見方ページ](#)を参照してください

A sidebar on the right is titled 'ダウンロード' and includes links for '更新履歴' (Update History) and 'バージョン番号の見方' (How to see version numbers). There is also a link to '逆引きTIPS集' (Inverse TIPS Collection).

<http://pickles.ptx.jp/download/>

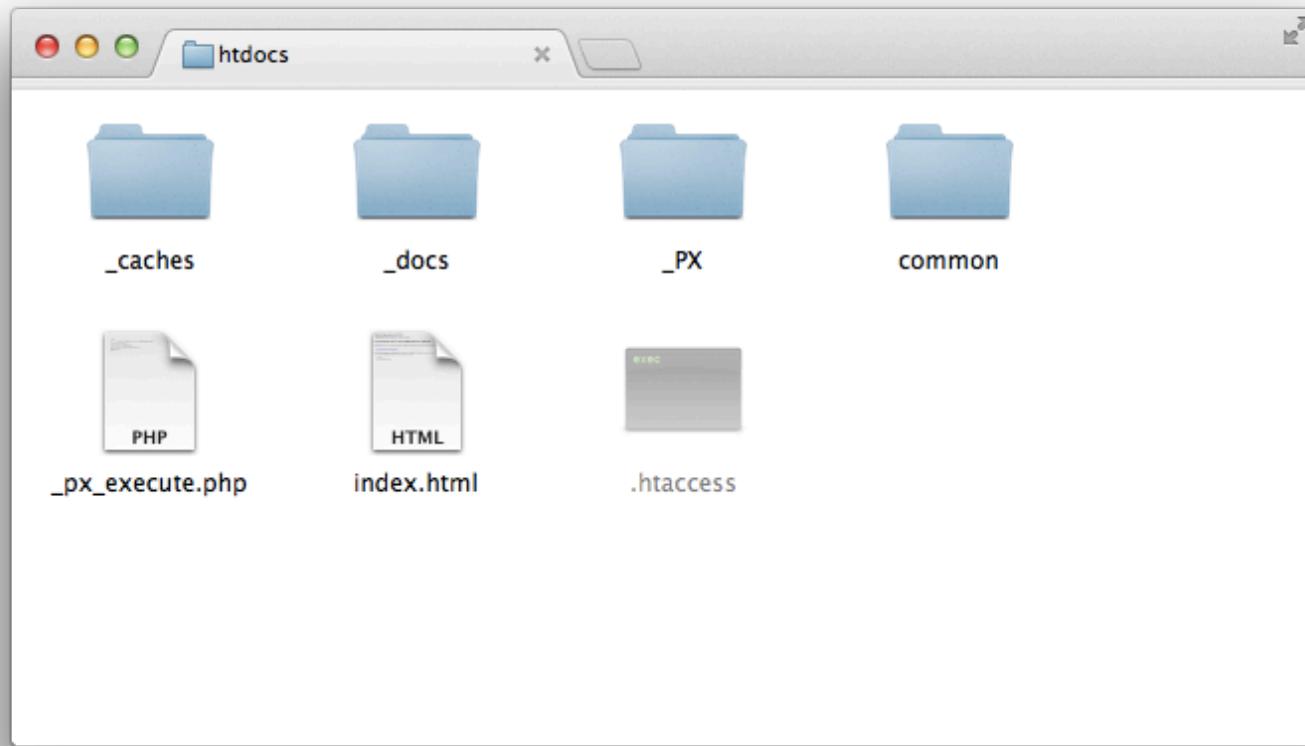
ダウンロードしたZIPファイルを解凍します

ただのZIPファイルです。お好きなアーカイブツールを使ってください。



ファイルをウェブサーバーにアップロードします。

PHP5が動作するサーバーなら、だいたい動きます。



これだけで、セットアップは完了です



※サーバーの種類や設定によって、パーミッションの設定が必要になる場合があります。

たった、これだけです。

- ・ 特殊なコマンドを覚える必要はありません。
- ・ データベース・サーバーを用意する必要もありません。
- ・ XAMPP や MAMP を使って、あなたのパソコン上でも簡単に動かせます。

ウェブページを作ってみます

1. サイトマップを編集します
2. テーマを編集します
3. コンテンツを編集します

まずははじめに、サイトマップ（ページリスト）を作ります

エクセル形式で誰でも簡単に編集できます。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "PxFW_pickles.pxt.jp_sitemap_20131". The ribbon tabs include ホーム, レイアウト, テーブル, グラフ, SmartArt, 数式, データ, and 校閲. The formula bar shows "S21". The toolbar includes various icons for file operations, text styling, and data manipulation. The spreadsheet contains the following data:

	ページID	ページタイトル	ページのパス	コン
	id	title	path	cont
9	TOP	トップページ	/	
10	A-0	Pickles Frameworkとは？	/about/	
11	B-0	ダウンロード	/download/	
12	B-1	更新履歴	/download/changelog.html	
13	B-2	バージョン番号の見方	/download/about_version_number.html	
14	C-0	セットアップ手順	/setup/	
15	D-0	チュートリアル	/tutorial/	
16	E-0	マニュアル	/manual/	
17	E-1	コンフィグ	/manual/configs/	
18	E-2	コンテンツ	/manual/contents/	

サイトマップ(ページリスト)をインポートします

作ったエクセルファイルを、専用の管理画面にドラッグしましょう。

※この手順には、sitemapExcelプラグインが必要です。

https://github.com/tomk79/PxPlugin_sitemapExcel

The screenshot shows a web browser window for the Pickles Framework (version 1.0.0b10-nb) at officialweb.pxfw.localhost/?PX=plugins.sitemapExcel.import. The page title is "plugins.sitemapExcel インポートする". On the left, there's a sidebar with "サイトマップ(xlsx形式)" and "サイトマップCSVの上書き" options. The main area has a dashed-dotted drop zone with the text "ここにエクセルファイルをドロップしてください。" A large blue arrow points from a file icon labeled "XLSX" to this drop zone. To the right of the drop zone, a file path "PxFW_pxfw_sitemap_20131230_1651.xlsx" is visible. At the bottom, there's a button labeled "インポートを実行する".

サイトマップの構造が、画面に反映されます

エクセルの内容の通りに、ナビゲーション構造が自動的に生成されます。
もちろん、リンクをクリックして遷移することも可能！

マニュアル | Pickles Framework

localhost:9999/manual/

Pickles Framework

マニュアル

Content file is not found.

■ Pickles Frameworkとは? ■ ダウンロード ■ セットアップ手順 ■ チュートリアル ■ マニュアル

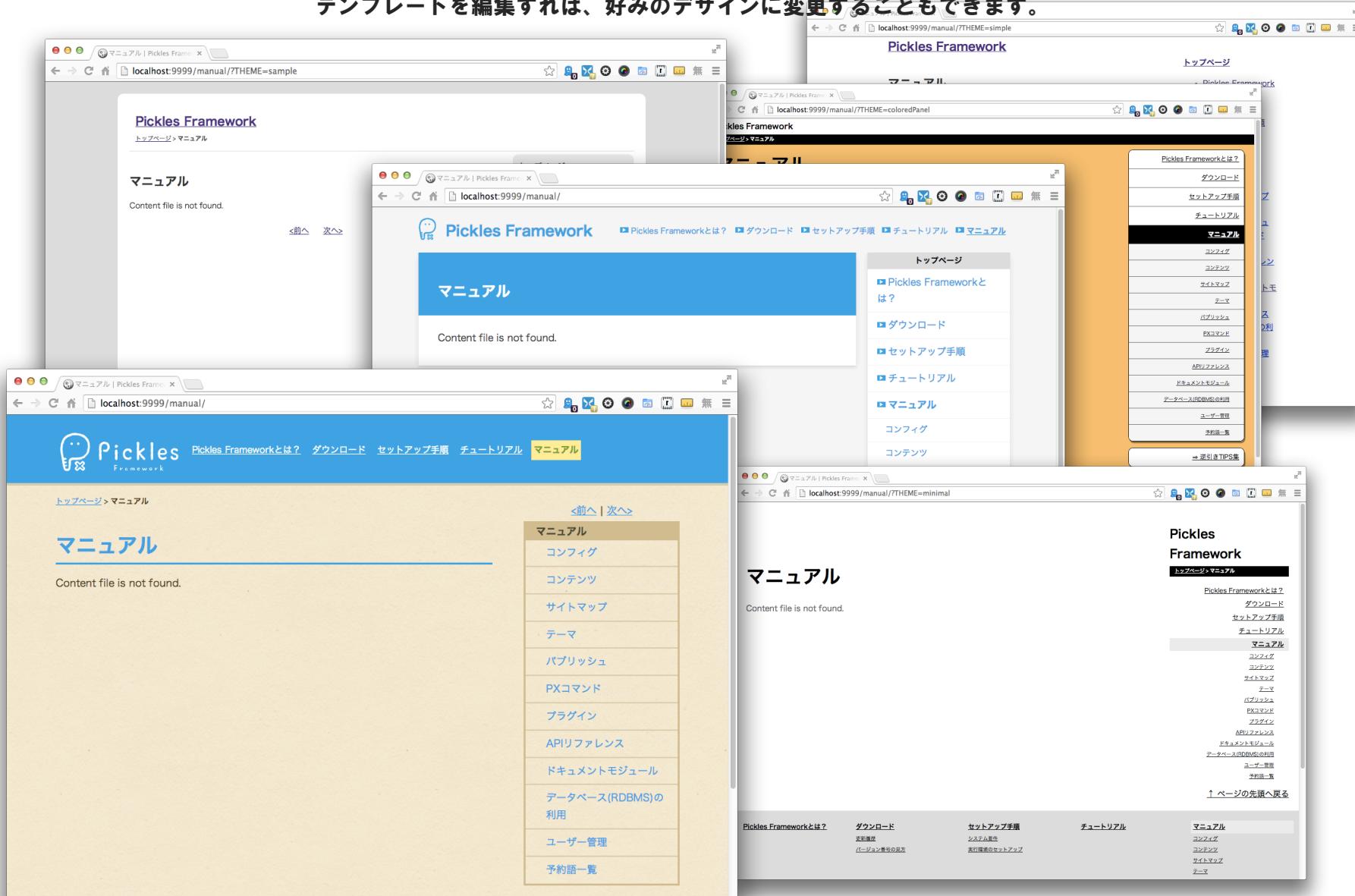
トップページ

- Pickles Frameworkとは?
- ダウンロード
- セットアップ手順
- チュートリアル
- **マニュアル**
- コンフィグ
- コンテンツ
- サイトマップ
- テーマ
- パブリッシュ
- PXコマンド

30

テーマを編集します

テーマを選んで、あなたに合ったデザインに変更しましょう。
テンプレートを編集すれば、好みのデザインに変更することもできます。

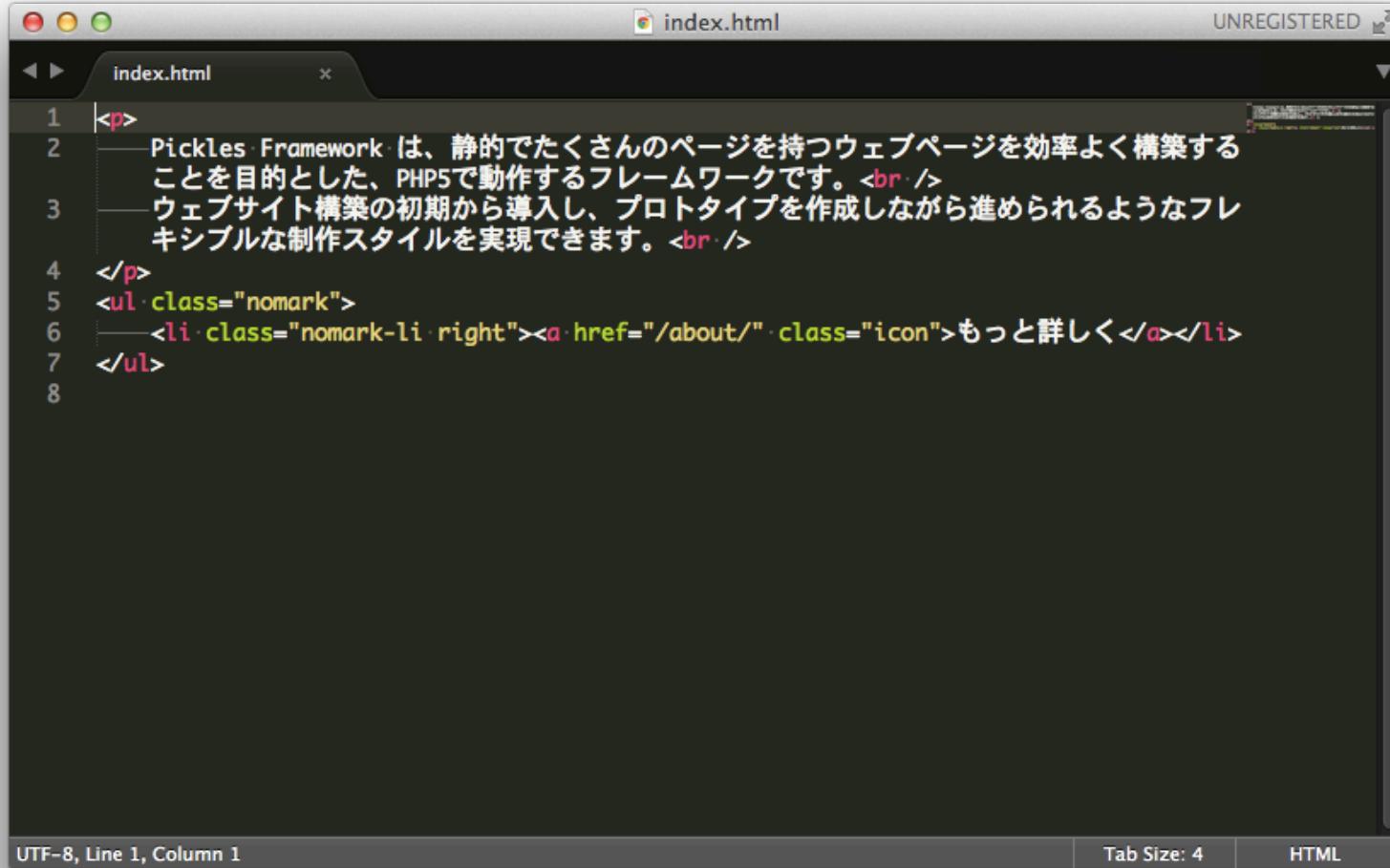


コンテンツを制作します

コンテンツは、ウェブページの内容部分のことです。
テーマによって自動的に生成できなかった部分を担います。
一般的なHTMLの知識があれば編集することができます。

コンテンツを制作します

コンテンツは、ウェブページの内容の部分。普通のHTMLで編集します。
ただし、編集が必要なのは、コンテンツの部分だけ。ヘッダーやフッターを書く必要はありません。



```
index.html
UNREGISTERED
index.html
1 <p>
2   Pickles Framework は、静的でたくさんのページを持つウェブページを効率よく構築する
3   ことを目的とした、PHP5で動作するフレームワークです。<br />
4   ウェブサイト構築の初期から導入し、プロトタイプを作成しながら進められるようなフレ
5   キシブルな制作スタイルを実現できます。<br />
6 </p>
7 <ul class="nomark">
8   <li class="nomark-li right"><a href="/about/" class="icon">もっと詳しく</a></li>
9 </ul>
```

UTF-8, Line 1, Column 1 | Tab Size: 4 | HTML

コンテンツを制作します

作ったコンテンツをサーバーにアップすれば、テーマの中に入れられてウェブページが完成です。
同じように、ほかのページもどんどん作っていきましょう。

The image displays three separate browser windows showing different pages of the Pickles Framework documentation:

- Top-left window:** Shows the main homepage with the Pickles Framework logo and a brief introduction. It includes a "Read more" button and a footer with links to the manual, download, setup guide, tutorial, and manual.
- Top-right window:** Shows the "Manual" page, specifically the "Config" section. The sidebar lists "Config", "Content", "Site Map", "Theme", "Publisher", "PX Command", "Plugin", and "API Reference". The main content area is titled "Config" and describes it as a class that holds configuration settings for the framework.
- Bottom window:** Shows the "API Reference" page, specifically the "classes" section. The sidebar lists the same categories as the top-right window. The main content area is titled "classes" and lists several classes under the "Core Object Classes" heading, such as "px_px (\$px)", "px_cores_error (\$error)", "px_cores_dbh (\$dbh)", "px_cores_site (\$site)", "px_cores_req (\$req)", and "px_cores_user (\$user)".

静的なウェブページをパブリッシュします

作成したウェブページは、そのまま公開することができますが、PHPの動的なままでは都合がよくない場合も多いでしょう。

スタティック(静的)なHTMLをパブリッシュすれば、どんなウェブサーバーでも公開することができるようになります。

パブリッシュ画面を開きます

操作は簡単。URLに ?PX=publish をつけると表示される管理画面から、ボタンをクリックするだけです。

The screenshot shows two browser windows side-by-side. The left window displays the 'publish' interface for the 'Pickles Framework (version:1.0.0b11-nb)'. It includes a sidebar with 'Pickles Framework (pxfw)' and a main area titled 'publish' with the sub-section 'プロジェクト『Pickles Framework』をパブリッシュします。'. A table lists settings: 'パブリッシュ対象のパス' set to '/about/' with a link to '変更する', and '適用するテーマ' set to 'default'. The right window shows the command-line output of the 'publish' command, which includes the framework version, process ID, date, and detailed paths for ignored files and cleaned directories.

publish | Pickles Framework (version:1.0.0b11-nb)
project "Pickles Framework" (pxfw)

PX command "publish" executed.
ProcessID=9357
2013-12-30 17:03:42

path_docroot_dir => [REDACTED]
path_tmppublish_dir => [REDACTED]
path_lockfile => [REDACTED]
path_publish_dir => [REDACTED]
path_target => /*
paths_ignore =>
- [REDACTED]
- [REDACTED]
- [REDACTED]
- */.DS_Store
- */Thumbs.db
- *.nopublish/*
- */.svn/
- */.git/
- */.gitignore

* cleaning publish dir.
/_caches/readme.txt
/_caches/themes/default/css/common.css
/_caches/themes/default/css/layout.css
/_caches/themes/default/css/modules_custom.css

次のボタンをクリックしてパブリッシュを実行してください。

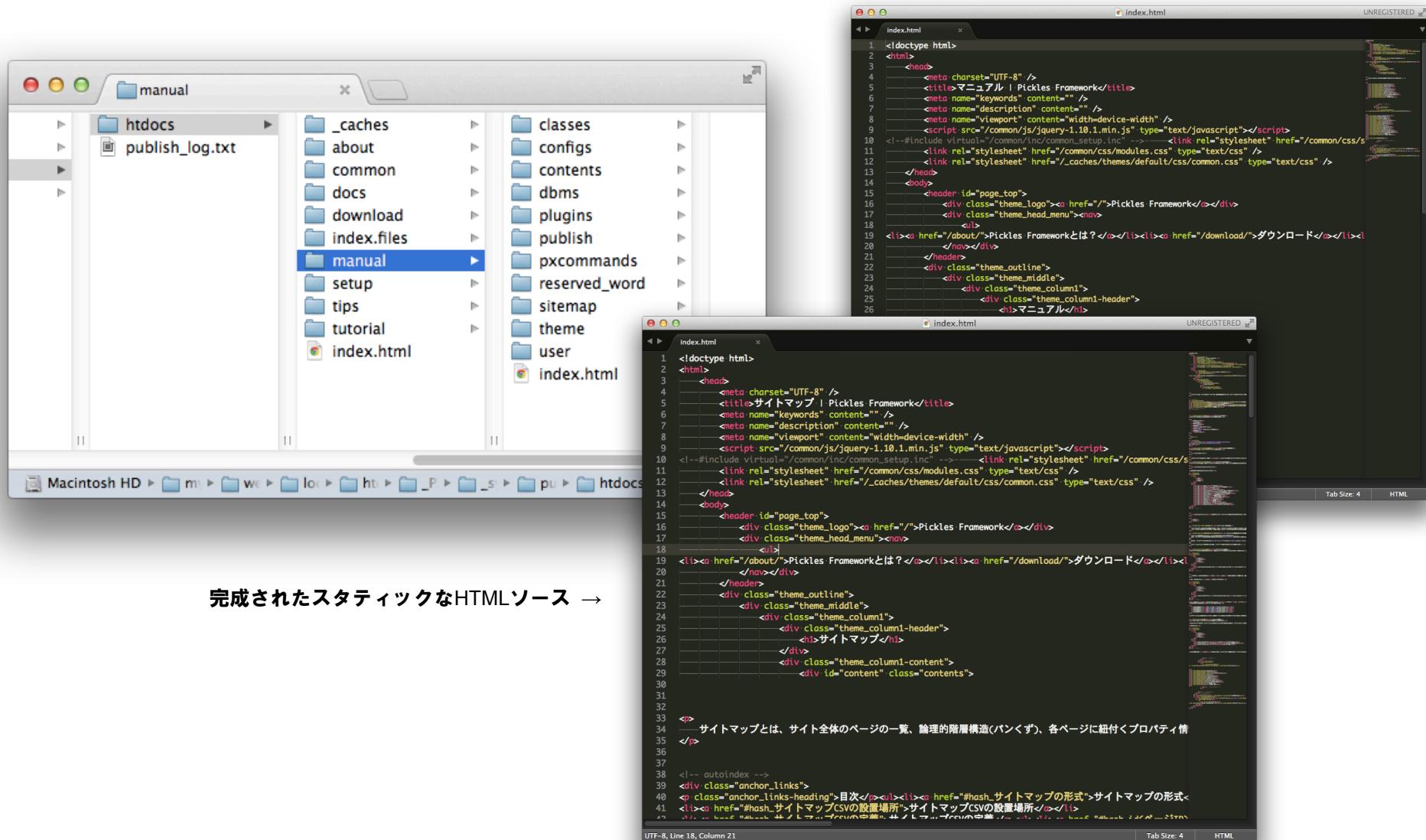
パブリッシュを実行する

コマンドラインから実行する

パブリッシュする際のコマンドから実行オプションをスキップ

スタティックなHTMLファイルが生成されます

テーマとコンテンツが合成され、完成されたHTMLを生成します。
これなら、特別な設定やPHPが動作する必要もなく、どんなウェブサーバーでも公開することができます。



これで完成です！

- あとは、このようにして生成されたHTMLを、公開サーバーに設置するだけ。

ぜひ一度、さわってみてください。

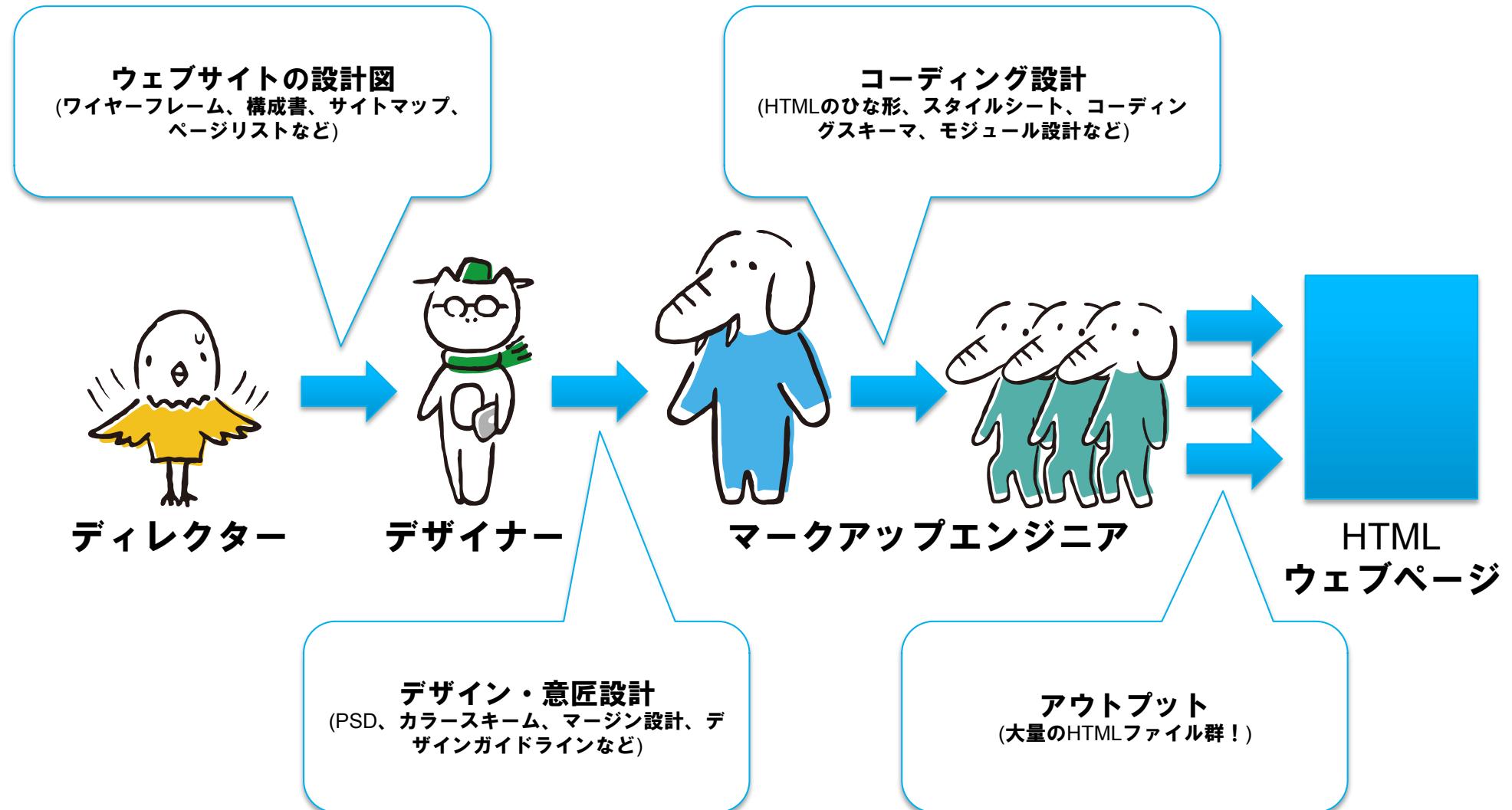
きっと、ウェブ制作のお仕事がスムーズになります。
制作に携わるチームのみんなが、納得できるワークフローに変わります。

そうすることで、これまでのウェブ制作のお仕事を、
より創造的で、より充実した時間に変えることができたら嬉しいです。

将来のユメ

ウェブ制作の現場では、分業で仕事をすることが多くなりました。

分業だから、コミュニケーションのための中間成果物がたくさん必要。

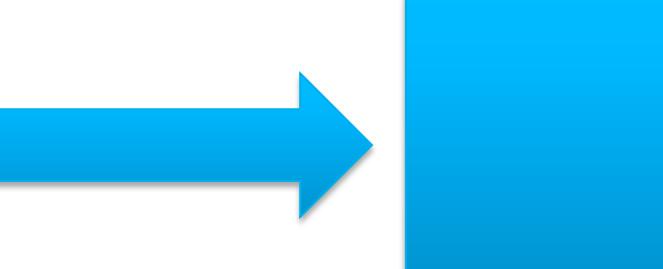
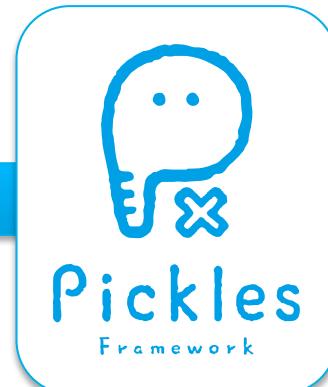


ディレクターが設計したら、すぐにウェブページができてしまう！（ように、将来はなりたいと思います）

PxFWを通じてウェブサイトを設計すると、
そのままダイレクトにウェブページが作れる、
ウェブサイトデザインツールにしていきたいと思います。



ディレクター

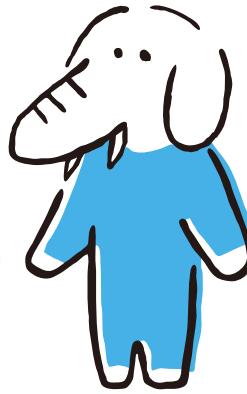


HTML
ウェブページ



デザインのルールと、
部品になるイメージを
作ります！

デザイナー



マークアップ
エンジニア

デザイナーがデザインした色やレイ
アウトの規則を、編集ツールのUIに
反映します！

ありがとうございました！

～Pickles Framework のダウンロードについて～

- Pickles Framework は、オープンソースのフレームワークとして、Github上で有志により開発されています。
- より詳しい情報は、Pickles Framework の公式サイトをご覧ください。
<http://pickles.pxt.jp/>
- ご要望やバグなどにお気づきの方は、Github Issue に投稿してお知らせください。みなさんのご協力をお願いします。
<https://github.com/tomk79/PxFW-1.x/issues>
- 一緒に開発に参加してくれる方も募集しています。